

街中「がんサロンちっこ」の効果を検証する
～筑後ブロックがん相談支援センター連絡協議会の実践研究～

- 1 はじめに
- 2 「がんサロンちっこ」の紹介
- 3 活動実績・アンケート結果
- 4 考察・結果
- 5 今後の課題



2011年5月29日
筑後ブロックがん相談支援センター連絡協議会
地方独立行政法人 大牟田市立病院
MSW北嶋 晴彦

筑後ブロックがん相談支援センター連絡協議会

大牟田市立病院
大牟田市 350床(一般) 29診療科

久留米大学病院
久留米市 1098床(一般 1045/精神 53)
29診療科

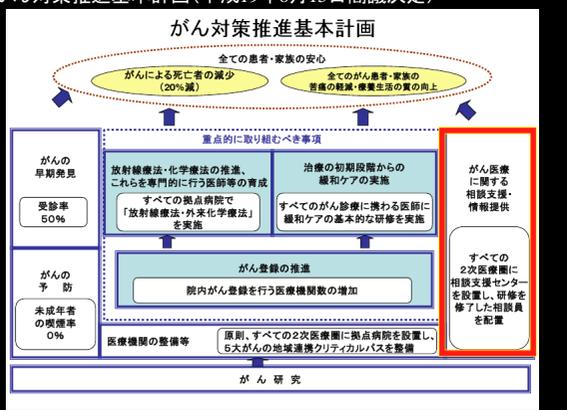
公立八女総合病院
八女市 330床(一般) 19診療科

聖マリア病院
久留米市
1354床(一般1188/精神60/療養100)
27診療科

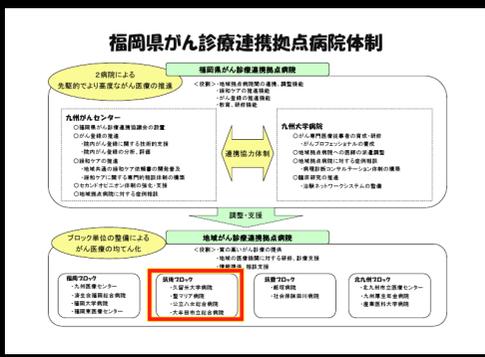
(第1回会議平成20年1月22日/会議は毎月1回)



がん対策推進基本計画(平成19年6月15日閣議決定)



福岡県がん診療連携拠点病院体制(平成23年4月現在)
全国388ヶ所(県51+地域337)
福岡県内15ヶ所(県2+地域13)



「がん対策推進基本計画」に掲げられている
「がん専門相談員」の役割

- ✓ 相談支援に関し十分な経験を有する看護師等の医療従事者や患者団体等との連携について検討する
- ✓ がん患者本人はもとより家族に対する心のケア(精神的支援)が行われる相談支援体制を構築してゆく
- ✓ がん患者や家族等が、心の悩みや体験等を語り合うことにより、不安が解消された、安心感につながったという例もあることから、こうした場を自主的に提供している活動を促進してゆくための検討を行う

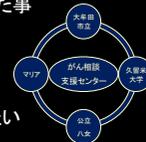
「がん専門相談員のための学習の手引き～実践に役立つエッセンス～」2008年9月 国立がんセンターがん情報センター

「がんサロンちっこ」の紹介①

※「ちっこ」とは福岡県筑後地域を表す方言

目的: がん患者やその家族等に相談交流できる場を設け、参加者同士で情報交換を行い、悩みや不安を取り除くことで生活の質向上に寄与することを目的とする

特徴: 筑後ブロックがん相談支援センター連絡協議会が共同し、街中にがんサロンを新規に立ち上げた事



各医療機関の所在地でがんサロンを運営したい

- 本当にニーズがあるのか?
- 運営のノウハウがない
- まず久留米市でがんサロンを皆で立ち上げてみよう

「がんサロンちっこ」の紹介②

※「がん患者サロンの取り決め」より

目的: **がん患者・家族の交流 情報交換 生活の質向上**

対象者: **がん患者 患者家族**
(年齢・地域・疾患・受診医療機関の制限なし。名前は匿名でも可)

開催日: 毎月第2土曜日 14時～16時 平成22年10月開始

場所: 久留米市中心街のショッピングモール(くるめりあ六ツ門6階)

運営主体: 筑後ブロックがん相談支援センター連絡協議会
→ 2011年4月より患者が運営に参画

「がんサロンちっこ」の紹介③

主な内容: **ミニ講演(30分) + 患者・家族交流会(90分)**

参加ルール: **やってはいけないことを規定(一部)**

- ①他人のプライバシーを侵す行為
- ②宗教・思想などの押しつけ・営利目的活動
- ③サロン内で得た情報を勝手に口外すること(個人情報保護)

活動評価: 参加者アンケート実施

運営費: **4万円(1万円×4病院/平成23年度) + 寄付金**
※会社(団体)からの寄付等は検討したが現在は見送り

広報: 行政機関(広報誌)・マスコミの活用 各病院の広報活動

後援: 久留米市、高等教育コンソーシアム久留米、大牟田市

「がんサロンちっこ」の紹介④



アンケート結果①

参加者数(全7回)

参加者数157名(延べ)
平均 22人/回
初回平均 9人/回

単位: 人

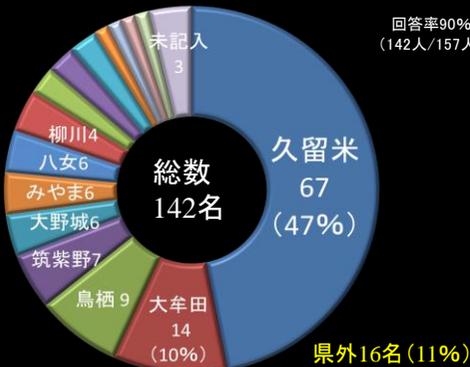


アンケート結果②

居住地

単位: 人

回答率90%
(142人/157人)



アンケート結果③

性別

回答率90%
(142人/157人)

総数 142名

男性 50名 (35%)

女性 92名 (65%)

アンケート結果④

参加者の立場

回答率90%
(142人/157人)

総数 142名

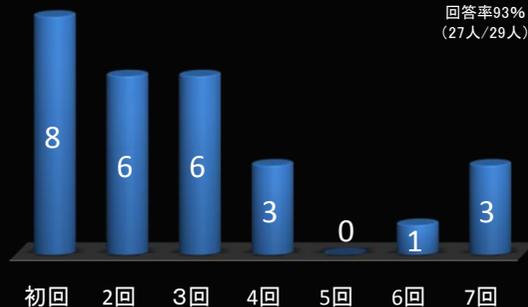


アンケート結果⑤

参加回数

参加者27名 (2011年4月実績:7回目)

回答率93%
(27人/29人)

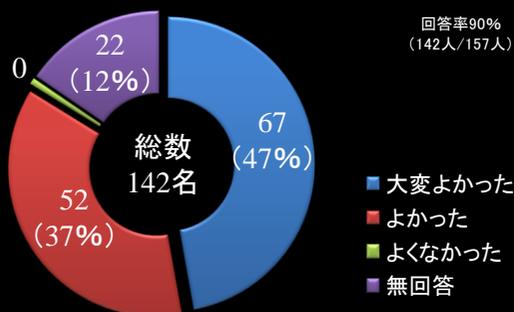


アンケート結果⑥

参加者の評価

単位: 人

回答率90%
(142人/157人)

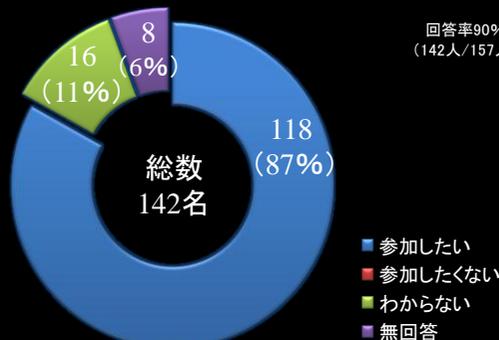


アンケート結果⑦

今後の参加希望

単位: 人

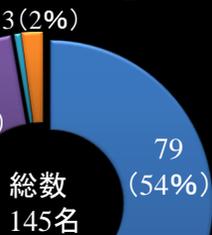
回答率90%
(142人/157人)



アンケート結果⑧

がんサロンちっこをどこで知りましたか？

回答率90%
(142人/157人)



- 市報やマスコミの情報
- 友人や知人の紹介
- ポスターやちらし
- 医療スタッフの紹介
- その他 1 (1%)
- 未記入

(複数回答あり)

考察

- ✓ 評価は良好であった
- ✓ 体験の情報共有でピアサポート効果が期待できる
- ✓ サロンは自分の本音が話せる場と感じる人が多い
- ✓ 市報やマスコミからサロンに関する情報を得やすい
- ✓ 自分にとっての正しい治療(情報)を得ることが困難と感じている人が多い
- ✓ 医療費・生活費について悩んでいる人が多い
- ✓ がん種別によるサロンの開催を希望する人が多い

結果

- ✓ 患者・家族の**体験的知識の共有**により不安が解消され、**安心感につながる活動**となっている
- ✓ **がんサロンのニーズがある事**がわかった
- ✓ がん対策推進基本計画でがん相談支援センター(がん専門相談員)に求められている**患者支援の一部が実現**ができた

今後の課題

- ✓ **保健・医療・福祉・行政機関との連携**
→患者や家族の意見を**医療の質向上**や**社会システムに反映**させたい
- ✓がんサロンの運営主体の移行
(協議会→患者・家族主体へ)
- ✓各拠点病院地域でのがんサロンの立ち上げ

本日はありがとうございました。

「がんサロンちっこ」の活動が
患者・家族の生活の質向上や
がん医療の質向上に寄与できれば幸いです

